



Weekly Report

東京立川ロータリークラブ

2016.9.30 第2718回 例会



【会長挨拶】 尾内昭夫会長

だんだんと少しずつ秋めいた陽気になってきました。秋と言えば読書の秋です。皆さん読書はしていますか？私は本を読むと言えば、仕事関係の本やノウハウ本ばかりで、小説等はもう何十年も読んでいない気がします。これでも中学時代は、自称文学少年で芥川や菊池、太宰等を読みふけたものですが、小説を読まなくなったので、では映画でも観るかと思えば、これもまず映画館に行くことはありません。話題の映画はDVDが発売されるのを待って、ネット通販で買って家で観ます。中には買ったものの観ないで積んであるDVDも何十枚かあります。最近観たいと思っているのは、今大ヒット上映中の「シン・ゴジラ」です。私はまだ観ていませんが、皆様でもう観た方はいらっしゃいますか？放射能をまき散らしながら、巨大未確認生物「ゴジラ」が突如東京湾に現れて、それに対する政府の初動が描かれる序盤は、前例のない出来事の為に、官邸、閣僚、各省庁が右往左往する様子が描かれているそうです。結果として大した対策も出来ない。ゴジラは3.11の東日本大震災及び原発事故の例えであり、それに対して日本政府がいかに対応するかをシミュレートした政治ドラマとして、圧倒的ナリアリティを持っているとの事で、単なる怪獣映画ではありません。一生懸命やっているものの、効果的な対応が出来ないという政府の機能不全については、3.11の惨禍を経験した日本人ならば実感として理解出来ると思います。政治家の右往左往ぶりを尻目に、防衛官僚や自衛隊の迅速ぶりが素晴らしい、この映画は自衛隊のPR映画ではないかというくらい、自衛隊が格好良いとのコメントがあります。この一部が立川でも撮影されました。この映画を皆さんご家族と一緒にご覧になって下さい。自衛隊と言えば、今年度の当クラブでは、親睦委員会の「納涼例会」で海上自衛隊横須賀基地で護衛艦に乗せて頂いたり、青少年奉仕委員会のクリスマス・チャリティコンサートと環境保全委員会のみどりのフィールドコンサートで航空自衛隊航空中央音楽隊にお世話になったり、そして今日は陸上自衛隊立川駐屯地司令 佐野一等陸佐の卓話と、まさに陸海空の自衛隊にお世話になっております。私の死んだ父が、仙台の陸軍幼年学校で、伯父が江田島の海軍士官学校出身なので、自衛隊と聞くと血が騒ぐ思いが致します。今日は、陸上自衛隊 佐野一等陸佐の卓話を楽しみにしております。宜しくお願い致します。



尾内昭夫会長

【お客様の紹介】

佐野光様(東部方面航空隊長 兼 立川駐屯地司令)
宮崎陽市郎様(東京三鷹RC)
安藤肇様(川崎RC)

山本徳人様(立川駐屯地広報空長)
生駒良治様(東京三鷹RC)
西川哲造様(東京昭島RC)



司会進行
肥沼俊男副委員長



幹事報告
織原寛一郎幹事



ニコニコ発表
竹内智之委員



出席率の発表
津田宣秋委員長

【司会進行】

SAA委員会 肥沼俊男副委員長

【開会点鐘】 尾内昭夫会長

【ロータリーソング斉唱】

『それこそロータリー』

【お客様紹介】

【会長挨拶】 尾内昭夫会長

【お客様挨拶】

【感謝状贈呈】

【幹事報告】 織原寛一郎幹事

【委員会報告】

米山奨学委員会 平井洋孝委員長

【ニコニコ発表】

親睦委員会 竹内智之委員

【出席率の発表】

出席委員会 津田宣秋委員長

会 員 数		108名
9月30日(金)	出席義務会員	99名
	出席免除会員	9名
	当日出席者	90名
	出席免除会員の当日出席者	3名
	出席率	88.23%
	9月16日の出席率	82.52% → 92.23%

【卓話講師紹介】

プログラム委員長 木村辰幸委員長

【卓話】

陸上自衛隊 東部方面航空隊長 兼 立川駐屯地司令 一等陸佐 佐野光様

【閉会点鐘】 尾内昭夫会長

2016~2017年度 RIテーマ



2016~2017年度 国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

2016~2017年度 クラブテーマ



例会時には必ずバッジをつけましょう

【お客様挨拶】 東京三鷹RC創立五十周年 実行委員長 宮崎陽市郎様 副実行委員長 生駒良治様

昨年度は地区また多摩中グループに対して多大なるご協力を賜りまして有難うございました。前年度ガバナー補佐として御礼申し上げます。本日は五十周年記念事業のPRに参りました。お手元にリーフレットがあるかと思



す。記念事業はロータリー財団の100周年記念、ポリオ撲滅チャリティ、五十周年創立記念のこの3つをかけて、2016年11月26日(土)国際キリスト教大学の礼拝堂にてパイプオルガンコンサート、第2750地区ロータリー財団の委員会、そしてポリオプラス委員会の後援を頂き開催するはこびとなりました。登録料は1万円ですが、3千円は個人としてポリオの方に寄付させて頂きたいと思っております。1時間位のコンサートの後、東ヶ崎記念ダイアログハウスにてささやかな立食のご用意をさせて頂いております。どうぞお越し頂ければと思います。五十周年の記念の式典は来年の9月26日(火)夕方から新宿京王プラザホテルで開催する事が決まっておりますので、手帳の方に記入を頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。

【感謝状贈呈】

米山カウンセラー 伊藤平八朗さん

貴重な感謝状を頂戴しまして有難うございます。先月の初めに東京中央RCの会員の太田様が見えましたが、会員数200名という事で、東京中央RCの歴史をお伺いしましたところ礼状が来ました。SAAとしても、これからは上席にお着き頂きおてなしをして頂ければ有難いと思います。今日は佐野連隊長、山本中隊長にお見えになって頂きまして、貴重なお話を聞きたいと思っております。私は大日本帝国陸軍として大東亜戦争に参加し下士官でした。幹部候補生として弟が二人特幹で志願していたもので種馬として残されました。どうも有難うございました。



【幹事報告】 織原寛一郎幹事

●10月のロータリーレートは102円です。●ロータリー米山記念奨学会から当クラブからの寄付金累計が7,000万円を達成したということで感謝状が届いております。事務局に掲示いたします。●地区より財団ニュース、ハイライト米山、戦没者慰霊法要および世界平和記念式典のご案内、至誠学舎立川より児童虐待防止推進セミナーのご案内が届いております。●社会福祉協議会よりアートブリュットTACHIKAWA2016のチラシが届いております。メールボックスに配布いたしましたのでご覧ください。●26日(月)会員増強・分類委員会の炉辺が開催されました。●10月3日(月)にパスト会長会がパレスホテル2F樓にて18:30から開催。



【委員会報告】

米山奨学委員会 平井洋孝委員長

委員会メンバー：副委員長三浦哲さん、委員市原聖功さん、小佐野茂樹さん、紅林太さん、中野均平さん。明日10月から米山月間です。1952年日本で最初に設立された東京RCが日本のロータリーの創設者と呼ばれる米山梅吉翁の功績を記念し始めた国際奨学事業は、国内の全ロータリー地区の合同事業になっており、ロータリーの目的である国際理解、親善平和を推進するに相通じる事業です。米山記念奨学事業に賛同し、ご協力頂けるメンバーの方は私か事務局にご一報頂ければと思います。また米山基金奨学会への寄付金には税制上の優遇措置が設けられております。本日配布の豆知識に詳しく載っておりますので、ご覧頂ければと思います。また2015年度の事業報告書も手元に届いておりますのでご覧下さい。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 竹内智之委員

- 川崎RC 安藤肇様 本日メイクします。お世話になります。明義さんと法事以外で会う貴重な機会です。ワクワク感満点です。
- 東京三鷹RC50周年実行委員長 宮崎陽市郎様、副実行委員長 生駒良治様大変お世話になります。東京三鷹RC50周年記念事業のオルガンコンサート、どうぞよろしくお願いたします。
- 立川こぶしRC 鈴木茂様 10月26日から31日まで伊勢丹立川店にて障害者の作品展「アールブリュット展」が開催されます。ぜひ高覧下さい。また多くのご協賛をいただき感謝申し上げます。
- 尾内昭夫会長 立川駐屯地司令 一等陸佐 佐野光様、立川駐屯地広報室長 三等陸佐 山本徳人様、本日は宜しくお願申し上げます。お話しを楽しみにしております。東京三鷹RC 創立五十周年実行委員長 宮崎陽市様、副実行委員長 生駒良治様、ご来訪を歓迎いたします。
- 織原寛一郎幹事 立川駐屯地司令 佐野様、ご多用のところ誠にありがとうございます。東京三鷹RC 宮崎様、生駒様、ご来訪ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。
- 木村辰幸さん 9月23日は、保護司の先輩方にお祝いをして頂き、有難うございました。しっかりと職務を果たし、皆様に一歩でも近づけるよう精進致します。
- 木村辰幸さん 佐野光司令、本日は宜しくお願いたします。山本徳人広報室長、本日のお越し有難うございます。東京三鷹RC50周年宮崎陽市郎実行委員長の来訪を歓迎します。
- 鈴木祥祐さん お目出度うございます。1月5日、永年の功績により、「社明」協力者として、法務大臣表彰が決定しました。
- 安藤明義さん 私の親戚です。安藤肇さんの来訪を歓迎して。

本日合計 44,000円 本年度累計 962,000円

【卓話講師紹介】

プログラム委員会 木村辰幸委員長

本日お越しの佐野光司令は昭和39年私と同級生です。愛知県にお生まれになり、昭和62年防衛大学校をご卒業され、宮城県に所在する東北方面ヘリコプター隊をかかわりに、陸上自衛隊の中核機関である陸上幕僚監部の勤務や、北海道に所在する第二飛行隊長、群馬県にある第十二ヘリコプター隊長等、数々の要職を歴任され平成28年7月1日付けで第二十八代東部方面航空隊長、兼ねて第二十三代立川駐屯地司令に着任され現在に至っています。本日は隊長としまして災害派遣で活動しました経験等を踏まえながら災害発生時における航空機運用についてのご講演を、短い時間ではありますがお話し頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。



卓話「災害時の航空機運用について」

陸上自衛隊 東部方面航空隊長 兼 立川駐屯地司令 一等陸佐 佐野光様

まず立川駐屯地の沿革ですが、旧陸軍により立川に飛行場が建設されたのは大正11年で、以来、関東大震災、太平洋戦争等における航空基地としてその機能を果たして参りました。終戦後は米軍が進駐して昭和52年に全面返還されるまで32年間基地の立川と呼ばれていました。この間、昭和30年に基地拡張への反対に住民の皆様と警察官が衝突する砂川事件が発生しましたが、現在は周辺自治体との良好な関係を維持出来るように努力している所です。また首都東京唯一の陸上の飛行場としての特性上、防衛及び防災活動拠点である重要な飛行場の役割を、少しずつ認知して頂けるようになりました。今年をもちまして43周年を迎える事が出来ました。駐屯地の東側に国及び都の防災関連機関が所在し、西側に国営昭和記念公園があります。さらに駐屯地の中には長さ1,200m、幅45mの滑走路があり、総面積は約85万平米、東京ドーム約17個分の面積を保有しています。立川駐屯地は立川広域防災基地の中核を担っており、北側に東京消防庁の航空隊、海上保安庁、内閣府の対策本部の予備施設、警視庁航空隊等が所在しています。また国営昭和記念公園も避難地域として防災基地となっています。先程会長のお話にもありましたが、まさしくシン・ゴジラの撮影場所にもなり、私の部屋の隣が応接室になるのですが、官邸を追われて避難してきた場所がその応接室で、その1コマで官房長官がソファーセットの上に紙1枚で会議をしていると、実際ではあり得ない感じですが、ご興味がある方は是非観て頂けたらと思います。立川駐屯地には主力として我東部方面航空隊、そして第一師団飛行隊、駐屯地を支える機能として立川駐屯地業務隊が所在しています。これで約700名の隊員、事務官が勤務しています。地域との関係ですが、市民の皆様にも機能を発揮し信頼される駐屯地を目指しまして、防災航空祭、駐屯地の見学、立川花火大会への協力等を行っています。その他箱根駅伝予選会、立川シティマラソン等の周辺自治体、団体への行事支援等を積極的に実施して立川飛行場の長期安定に努力している所です。箱根駅伝の予選会につきましては10月15日(土)、滑走路に学生が一列になってスタートし、滑走路を2周し、外に出て昭和記念公園でゴールになるというコースです。続いて東方航空隊が所属する常規部隊である防衛省陸上隊の概要についてご説明します。自衛隊は我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つ為侵略に対して国を防衛する事を主たる任務としています。また不審船、武装工作員、テロ等、我が国の平和と安全に重要な影響を与える新たな驚異や大規模な自然災害等に対して、関係機関と連携しながら迅速且つ実効的に対応していきます。更に近年国際社会が協力して行う国際平和協力活動に積極的に取り組み、平和と安全に貢献していきます。本日はこの災害派遣に焦点を絞ってお話し致します。防衛省の組織は内閣総理大臣を最高指揮官としまして、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊に区分しています。大規模災害等が起きた際には、陸海空が共同あるいは統合任務部隊と言い、ここに統合幕僚監部という組織がありますが、その令下でそれぞれの部隊を抽出して部隊を作り、事態に対処する事になっています。航空自衛隊は、ジェット機、輸送機、



ヘリコプターは沢山持っています。海上自衛隊も哨戒P3Cとか哨戒ヘリ、海上救難機等を持っています。我が陸上自衛隊については様々な機種へのりを保有しています。陸上自衛隊は15個の職種があります。それぞれの特性を發揮しながら、様々な機能を組み合わせる柔軟に対処しています。組織の特性上自衛隊は自己完結能力が最大限の強みであり、災害等が発生して自治体が機能、發揮しない状況でも、長期間に渡り独立的に行動できる能力を有しています。例えば、歩兵、戦車、大砲打ち、ミサイルを落とす部隊がありますが、災害派遣の時には主に人的戦闘力として被災者の捜索や救援等を実施しています。この中で特に機甲科というのは、戦車と偵察の部隊がありまして、偵察というのは、例えば災害派遣があった初動にはオートバイに乗って、道路が通れない場合にはオートバイで現地に行き、被災の状況を一番最初に情報収集するという事で機能しています。情報化いわゆるインテリジェンス、これは災害派遣の時になりますと、被害見積もりであったり復旧見積もり更に紙地図や、デジタル地図を配ったり、今流行の3D画像を作ったりする機能もあります。洞爺湖サミットや伊勢志摩サミットの時は3Dの地図を作り、それで現地に行ったかのような形でどちらからテロが来るのか、実際3次元で見る事によって、より実効的な対策が出来るような機能を持っています。私が所属する航空科は主に空で活動する部隊です。施設課は、いわゆる土木、シャベルやグラブ、救難ボートがあります。隊員が乗ってボートで被災者の方を助けて移動しているのを見たことがあるかと思いますが、それはこの施設科の任務です。その他シャベル等で倒壊した家屋や、道路の警戒をしています。次に武器科というのは非常に色々な装備を持っており、装備が壊れた際に対処する科です。通信課は全国各地に展開しており、有線や無線で繋ぐネットワークを構築する部隊です。当然無線デジタルもあります。野外に展開しても自由に使えるメールも出来ます。需品科は、被災された方の水を配ったり、お風呂に入れたり、洗濯をしったりということに被災者の為に寄与している所です。輸送科はトラック等を持っていますので、物資を被災者の所へ届けたりしています。科学科は地下鉄サリン事件であったり、東日本大震災の時の放射能測定等で活躍しています。警務科は我が自衛隊の中で規律違反等を犯した時に取り調べる、いわゆる警察の機能を持っています。そして衛生科は医者と看護師で囲まれた部隊で、被災者の方が怪我をされた時に手当をするという機能です。手術機能も持っていますので、高々度な手術は出来ませんが、野外で手術が出来る機能を持っています。会計科はお金の調達、音楽科は被災者の方の所に行き演奏し、被災者の方を和ませるという機能も用意しています。今15個の機能を紹介しましたが、それぞれ特性に応じてクロスアタッチをして現場に出すという様な形で急行させ、そこで寝泊まりしても、それをバックアップする組織がありますので、自己完結能力があって活動する事が出来るという強みの根元です。このスライドは自衛隊の役割が年々拡大しているものを表現したのになります。当初は国土防衛を義務としておりましたが、時代に伴いましてPKO協手法、国際緊急援助活動派遣法、テロ特、イラク特措法等に基づく活動を実施する他、国民保護、今も継続していると思いますが弾道ミサイル対処、海賊対処等を幅広い任務を実施している所です。近年では熊本地震、関東東北豪雨、東日本、新潟中越地震、有珠山、阪神淡路大震災、これはあくまでも代表的なものでして、大小色々な災害が起き自治体の方から要請を受ければ、それを受理した場合活動している状況です。次に東部方面隊と航空隊の概要についてお話しします。日本に展開している方面隊では、日本を5つに区分しています。首都圏を含む東部方面区を東部方面隊として司令部を朝

震において対応しています。その東部方面隊の任務につきましては1都10県の護衛、警備と公共の秩序の維持、役割につきましては、防衛、警備、災害対処、国際平和協力活動等、国家事業との支援であります。ちなみに国家的行事等で何をしているのかといいますと、伊勢志摩サミットではオバマ大統領以外の各国の要人は我々陸上自衛隊でセントレア国際空港からスペイン村までお運びしたという事を行っています。東部方面航空隊の概要ですが、東部方面隊は全部で33個の部隊を抱えています、その中の1つが我が方面隊です。その航空隊の任務について、防衛警備と大規模震災対処において迅速対応部隊として様々な活動、支援をする、また命令により国際緊急援助活動に参加しています。ここ立川駐屯地は航空隊本部、本部付隊、そして航空機はOH1、OHXUH1、OH1、OH6、UH1を装備している部隊と、後は管制気象業務を支援する管制気象隊、そして壊れた航空機を直す航空整備隊が所在しています。その他対戦車ヘリコプター通称AH1Sを千葉県の本更津市に配置するとともに、北宇都宮、霞ヶ浦、立川、滝ヶ原、木更津、相馬原に陸上自衛隊の飛行場があり、その飛行場において管制あるいは気象を支援する機能が管制気象隊というのがありますが、それをそれぞれ分地している所です。陸上自衛隊が保有している航空機の種類ですが、現在10機種11型を保有しています。災害派遣の時にはそれぞれの航空機の特長、すなわち小さいヘリコプターは偵察、大きいヘリコプターは輸送、中型ヘリコプターは狭い所に救出したりする任務があり、特長に応じて活動を実施しています。今回につきましては皆様が一番関心がある東京都が大きな被害を受けると言われている首都直下地震を想定して、その際の航空機の運用について説明したいと思います。政府が平成25年12月に公表した首都直下地震に関する最終報告での被害見積もりと東日本大震災との人的被害の比較は、首都直下地震におきましては火災が被災者を増大させるとともに、自衛隊の出動を大きく制約します。次に首都直下地震と東日本大地震との被害の比較では、首都直下地震の負傷者数は約20倍、避難者数は約15倍です。これに対して自衛隊の対処勢力は東日本大震災とほぼ同様の11万人です。さらに火災や液状化の影響を大きく受ける事から防災関連機関の空からのヘリコプターの連携が重要であると認識しています。首都直下地震が起きた場合の防衛省自衛隊の対処計画の概要では、発災当初それぞれ部隊ごと派遣を実施するとともに、大規模災害の火災の災害派遣の準備を実施致します。事後この段階におきまして大規模震災の命令を受領した場合、大規模の災害派遣活動を実施します。その間政府や関係自治体との密接な連携を図ると共に、状況におきまして統合任務部隊、陸海空が1人の指揮官の下に入って活動する、JTF(ジョイントタスクフォース)を編成して実施致します。概念的にはこのような形で発災1週間程で11万人位、陸海空で集めて初動にあたります。陸上自衛隊については発災したならば各地の部隊から増援部隊を導入して、現場に投入する状況です。陸上自衛隊の航空機も勿論増援されます。当立川駐屯地には約70機、関東地区全体としては約150機が配置される事となります。加えて立川駐屯地は警視庁の航空隊、あるいは東京消防庁がありますので全国からの消防、警察のヘリコプターも集まってくる状況で、立川の飛行場はヘリコプターの基地の中核となります。この際

の東部方面航空隊の任務は、発災直後から遡行して、救援活動、応急活動の支援をします。立川においては飛行調整場、調整出来る組織を開設しそれぞれの任務を調整します。ヘリコプターが飛ぶ為には、管制気象の支援が不可欠ですので、着陸場に管制あるいは気象情報を提供する場所を設けて、航空の安全を確保する任務を保有しています。具体的な活動ですが、震災が起きたらどのような状態になっているのか確認をする為に、365度見えるカメラを航空機に搭載して被災地域を周って撮影をする活動をします。あるいは状況不明という事になれば、航空偵察という事でヘリコプターを出します。更には火災が発生した際の空中消火、バケツと言いますが、水のうを積んで水を入れて火点を消すというものです。その中のヘリコプター映像転送装置の概要ですが、現場で写した画像をデータで中継機に送って、地上受信機に後は固定の回線で防衛省、官邸まで届きます。有線が繋がらない場合は衛星を介した形で防衛省、官邸まで届きます。さらに被災者が発見され救出する時には、通常航空機3機で編成したチームを運用して捜索から救助まで迅速に行うようにしています。次にこれは飛行しているヘリコプターに航空機がどこを飛んでいるのか情報を提供する装置です。管制気象装置P20と言います。この装置は陸上自衛隊の5個の方面気象隊が保有しています。この装置は航空機の監視や捜索、着陸誘導を行う移動式のレーダー装置です。いわゆる民間空港が保有している機能を任意の場所に開設する事が出来、首都直下地震の際にはこの装置を運用して、陸上航空機は勿論他自衛隊、警察、消防、海上保安庁のヘリコプターの情報を提供しまして、安全を確保している状況です。首都直下地震が起きた時には、全部で11カ所の大規模救出の活動拠点の候補地を東京都が指定していますが、その中で4カ所に先程のレーダーを配置し、ヘリコプターに情報を提供しています。実際どのような実績があるのか、昨年関東東北豪雨災害派遣の成果についてお話しします。災害派遣期間は約10日。その10日間で派遣航空機は陸上、海上、航空自衛隊併せて延べ105機となっています。人員につきましては8,000名弱投入しています。派遣活動の具体的事項につきましては、航空機における救出活動の他、先程15個の職種を紹介しましたが、ボートによる救助活動、冠水地域における捜索活動、あるいは給水、入浴、防疫支援等があります。航空機の運用と航空管制装置P20の運用について説明致します。9月11日発災2日目の状況ですが、航空自衛隊、陸上自衛隊、警察、消防、海上自衛隊エリアに捜索エリアを区分するとともに、航空自衛隊、警察、消防、海上自衛隊、陸上自衛隊のエリアもそれぞれA、B、Cと細分化をし、捜索を実施しました。救助者数の実績ですが、東部方面航空隊に所属していますヘリ隊については、3日間約174名の方を救助し、ヘリコプターでは全部で500名の方を救助しました。航空管制装置につきまして、発災の翌日に鬼怒川の流域に救援活動機が集中したため、茨城県の下妻ヘリポートに展開をしまして、情報提供の実施をして救援航空機の安全を確保しました。全部でヘリコプターは報道、警察、消防を含め約400機弱が活動していました。まさに空地の連携を図りながら安全確実に任務を遂行する事が出来ました。我々自衛隊は航空機能はもとより、各機能を組織し自己完結能力を発揮して各種事態に迅速に対応し、我が国の平和と皆様の生活を見守り続けていきたいと思っております。

➤事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666
【HP】<http://www.tachikawa-rc.org/>
【E-mail】ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp

➤例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川
TEL：042-527-1111
➤例会日／金曜日 12：30点鐘
会長／尾内昭夫 幹事／織原寛一郎 会報担当者／古屋佳男委員